

科目名 (英)	衛生管理 Hygiene	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	氏家 由美
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 2	開講区分 曜日・時間	水曜 1・2・3・4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
国家試験の科目であるがそのための知識の取得ではなく美容師として人が集まる場所で働くものとして衛生というものに心配りをし、快適な空間を提供することができるようになるような知識を身につけるような授業をしていく。 また、具体例や機材を使った授業を展開していく。							
【授業を通じての到達目標】							
最終的には国家試験合格が目標であるが、それにとどまら美容師法第1条「美容師は美容師の業務が適正に行われることで公衆衛生の向上に資すること」とされていることを実践できる美容師になるための知識を身につける。また2年次の国家試験対策講義において、十分な知識の再確認ができるようにしておくことも目標の一つである。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
教科書 各種プリント							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 授業オリエンテーション 【到達目標】 この科目がなぜ必要かまたそこに達するための授業の進め方について説明できるようになる。			9	【授業単元】温度、湿度、気流と健康 【到達目標】 講義 温度や湿度、気流について我々とのかかわりを説明することができる。		
2	【授業単元】公衆衛生の概論と歴史 【到達目標】 講義 公衆衛生とはどういうものでそれに至るまでの歴史上の人物の構成が説明することができる。			10	【授業単元】衣服と住居の衛生 【到達目標】 講義 人間が着る衣服の意義や役割、窓や照明、冷暖房などの役割について説明できる。		
3	【授業単元】美容師と公衆衛生、保健所について 【到達目標】 講義 美容師がどのように公衆衛生に関わりまたその最前線である保健所の業務、組織または美容所との関わりについて説明することができる。			11	【授業単元】上下水道 廃棄物 【到達目標】 講義 何気なく使っている水道や使い終わった水のシステムや数字、ごみやし尿の処理について説明できる。		
4	【授業単元】母子保健、成人保健その1 【到達目標】 講義 生まれてくる子供と母親についての統計的な数字および生活習慣病などの成人に対する保健の内容を説明することができる。			12	【授業単元】衛生害虫とねずみ、環境保全 【到達目標】 講義 様々な疾患を媒介したり環境を破壊する衛生害虫やねずみについてどのような影響を及ぼしているか、また美容師が環境の破壊(公害)を引き起こさないような保全対策について説明できる。		
5	【授業単元】成人保健 その2 【到達目標】 講義 がんや心臓病などの生活習慣病について具体的な例や統計学な数字を説明することができる。			13	【授業単元】第5編 美容所における衛生管理要領 【到達目標】 講義 美容所が美容師が働くにあたり、またお客様を迎え入れるにあたり管理要領に定められた内容を説明できる。		
6	【授業単元】老人保健と福祉、精神保健 【到達目標】 講義 高齢化社会における保健制度や近年増加傾向にある心の病について内容や問題点を説明することができる。			14	【授業単元】期末試験 【到達目標】 試験 半年間知識を身につけたものを再確認する。		
7	【授業単元】公衆衛生 中間テスト 【到達目標】 試験及び解説 1～6までの内容について知識の確認をするとともに解説をすることで知識のフィードバックができるようになる。			15	【授業単元】期末試験の解説 【到達目標】 試験 試験の解説をすることにより、知識レベルの再確認と今後伸ばしていかないといけない場所を確認することができる。		
8	【授業単元】環境衛生の目的と意義 空気と健康 【到達目標】 講義 環境衛生とはどういうものでありまたその中での空気について成分や数字を説明することができる。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	美容保健 1 Health for Beauty	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大須賀 範子
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1	開講区分	前期 火曜日
						曜日・時間	1・2・3・4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容保健を学ぶことによって、人体の各名称や特徴などを理解し、技術の修得や向上に役立てることができる。 2013年から美容専門学校で講義を担当し、教科書の内容をより理解出来る様にアクティブラーニングを取り入れている。							
【授業を通じての到達目標】							
人体の構造、機能を理解し、第三者に説明もできるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
日本理容美容教育センター発行の保健の教科書及びワークブック							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 人体各部の名称、プロポーション  【到達目標】 人体の位置や方向を説明する言葉やプロポーションについて説明できる。			9	【授業単元】 主な骨格筋とその働き  【到達目標】 頭部頸部、上肢、下肢の主だった筋の各称と働きを挙げられる。		
2	【授業単元】 目とその周辺の名称と特徴  【到達目標】 眉、眼瞼、角膜、睫毛外眼角、内眼角などについて説明できる。			10	【授業単元】 体幹の筋と表情筋  【到達目標】 呼吸運動に関する筋と眼、口を中心とした表情を作る筋を説明できる		
3	【授業単元】 耳、鼻、口とその周辺の名称と特徴  【到達目標】 外耳、外鼻、口の周辺の溝の名称について説明できる。			11	【授業単元】 神経系の成り立ち  【到達目標】 神経細胞と神経系の分類について説明できる。		
4	【授業単元】 骨の種類と構造  【到達目標】 骨を分類でき骨の構造、成分、働きについて説明できる。			12	【授業単元】 中枢神経  【到達目標】 中枢神経について説明し、その構造各部分の働きを述べるができる。		
5	【授業単元】 骨の連結状態と頭蓋  【到達目標】 骨の結びつきについて理解し、分類できる。 頭蓋を分類し、その特徴を理解することが出来る。			13	【授業単元】 末梢神経  【到達目標】 末梢神経について理解し、機能的分類及び特徴を説明できる。		
6	【授業単元】 脊柱、胸郭、上肢骨、下肢骨  【到達目標】 脊柱、胸郭、上肢骨、下肢骨を理解し、分類できる。			14	【授業単元】 第一セメスター総合確認テスト  【到達目標】 1～13回で学習した内容について正答率7割以上となる。		
7	【授業単元】 中間確認テスト  【到達目標】 1～6回まで学習して内容について正答率7割以上となる。			15	【授業単元】 総復習  【到達目標】 体表解剖、骨、筋、神経系について名称、特徴を列挙できる。		
8	【授業単元】 筋の種類と書く特徴  【到達目標】 筋肉の種類と特徴を分類でき、説明できる。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点  ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容技術理論 I Technological theory I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	柴野 宏司
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分 曜日・時間	前期 水曜日・1～4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サロン実務30年、化粧品メーカー研究所での製品開発アドバイザーを経て、美容専門学校専任講師16年の経験に基づき、正確な美容技術の裏づけとなる理論を学ぶ。							
【授業を通じての到達目標】							
正確で安定した美容技術を行ううえで必要となる美容技術の理論を知る。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
美容技術理論 I							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 授業オリエンテーション、美容技術の作業姿勢 【到達目標】 美容技術理論を学ぶ価値を知る			9	【授業単元】 パーマントウェーブ技術の流れ 【到達目標】 パーマントウェーブの理論を知る		
2	【授業単元】 美容用具の種類と手入れ法 【到達目標】 美容用具の目的別使用方法を知る			10	【授業単元】 ヘアk-リング 【到達目標】 ヘアセッティングの種類と効果を知る		
3	【授業単元】 シャンプーングの実際とシャンプー剤の成分 【到達目標】 シャンプーングの概要を知る			11	【授業単元】 ヘアウェービング、その他のセッティング技術 【到達目標】 ヘアセッティングの種類と効果を知る		
4	【授業単元】 リンス・コンディショナー・トリートメント剤の成分 【到達目標】 リンス・コンディショナー・トリートメント剤の概要を知る			12	【授業単元】 ヘアカラーの種類、染毛のメカニズム 【到達目標】 ヘアカラーリングの種類と効果を知る		
5	【授業単元】 ヘアカットイングの基礎理論、シザーズによるカット技法 【到達目標】 ヘアカットイングの目的と技法の特徴を知る			13	【授業単元】 色の基本、謔妄技術の実際 【到達目標】 ヘアカラーリングの種類と効果を知る		
6	【授業単元】 レザーによるカット技法 【到達目標】 ヘアカットイングの目的と技法の特徴を知る			14	【授業単元】 美容技術理論 I の教科書全般の振り返り 【到達目標】 今までの学びを振り返り、理解を深める。		
7	【授業単元】 中間試験 【到達目標】 正答率60%以上			15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 正解率60%以上		
8	【授業単元】 パーマ剤の分類とはたらき 【到達目標】 パーマントウェーブの理論を知る			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	運営管理 operating administration	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高橋由香
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1単位)	開講区分	前期
						曜日・時間	火曜・1.2.3.4時限目
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
顧客や社会のために、美容師としての視野を広げ、社会人としての責任を理解する。							
【授業を通じての到達目標】							
社会人(美容師)としての責任を理解し実行できる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
運営管理							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 本科目の説明。経営とは、経営者とは何か。経営が難しい理由は何かを理解する。 【到達目標】 経営の最も重要なこと、最大のテーマは何かを覚える。			9	【授業単元】 社会保険(公的年金、医療保険、労働保険)について知る 【到達目標】 社会人になるための心構えと準備を考える		
2	【授業単元】 経営資源と経営計画、経営戦略を知る 【到達目標】 経営資源とは何かを理解することができる			10	【授業単元】 顧客が求める価値と実態を知る 【到達目標】 顧客満足を理解する		
3	【授業単元】 業界の概要、競争の変化を知る 【到達目標】 美容業の現状と変化を知ることができる			11	【授業単元】 経営者・美容師のマーケティングを知る。マーケティング・ミックスへの要因(短期的要因・長期的要因)を知る 【到達目標】 何を組み合わせる魅力を伝えるか理解する。		
4	【授業単元】 売上目標の達成は、コストの削減、収支と損益とは何かを理解する 【到達目標】 コスト管理や税金の種類を覚える			12	【授業単元】 接客におけるトラブルと対応、接客で発生が予想される問題を知る。 【到達目標】 接客におけるトラブル、事故を知り、どう対処するかを理解する。		
5	【授業単元】 人という資源、人の能力を高める方法を知る 【到達目標】 経営資源の中で最も重要なのは何かを理解することができる			13	【授業単元】 接客の実践(店内環境、受付、提案・質問、説明・調整、謝罪) 【到達目標】 実際に接客を行うためにどうしたらよいか考える		
6	【授業単元】 労働者の権利とは何かを理解する。理容・美容の仕事と健康について知る。理容業・美容業に特徴的な健康課題を理解する。 【到達目標】 給与、待遇・福利厚生について知る。労働者の権利とは何かを理解する。美容業で特に注意が必要な健康問題とは何かを理解する。			14	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 今まで学習したことを正答率7割以上とることができる		
7	【授業単元】 中間試験。試験終了後、社会人と学生の違いについて考える。 【到達目標】 正答率7割以上。社会人になるための心構えと準備を考える。			15	【授業単元】 定期試験の答え合せ、振り返り 【到達目標】 運営管理とは何かを振り返る		
8	【授業単元】 テスト返し、答え合せ、解説。社会保険(公的年金、医療保険、労働保険)について知る。 【到達目標】 社会人になるための心構えと準備を考える。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容実習(サロンワーク) Beauty Plactice	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	池田 文子
学科・コース	美容師科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2	開講区分	前期
						曜日・時間	火曜・水曜・木曜・金曜
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容の仕事は職業とするため知識と実践を積み、就職した場所でスムーズに即戦力になれるようなサロンワークを修得できるようにする。							
【授業を通じての到達目標】							
美容の仕事を理解し、基本的な受付業務、アシスタントの動き、シャンプー技術が出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・シザーケース(ハサミなし) ・ダッカール ・ドライヤー ・コーム類 ・デンマン ・ロール ・ジャンボコーム							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 美容師とは何か 【到達目標】 美容師という職業を理解する。 自己紹介で他人から自分はどうか見られているか知る。			9	【授業単元】 技術込みのロープレ 【到達目標】 接客をしながらのシャンプー、ドライの技術を理解する。		
2	【授業単元】 第一印象の大切さ 【到達目標】 自分のアピールポイントを見つける。 サロンの一日の流れを理解する。 サロンの準備、そうじの仕方。			10	【授業単元】 タイムを意識してロープレ 【到達目標】 1人を仕上げる時間の配分を考え、一人一客仕上げることを学ぶ。		
3	【授業単元】 レセプション業務 【到達目標】 受け付け～お見送りまでのロープレで、受付の流れを理解する。			11	【授業単元】 アシスタントをする 【到達目標】 スタイリスト、アシスタントに分かれて、2人のお客様を接客する方法を理解する。		
小テスト5 点 4	【授業単元】 笑顔で声色よく受け付け 【到達目標】 笑顔で印象良く、わかりやすい接客を修得する。			12	【授業単元】 スタイリスト、アシスタントそれぞれの仕事をする 【到達目標】 スタイリスト、アシスタントの仕事内容を理解する。		
5	【授業単元】 セット面の鏡の中でお客様と会話をする 【到達目標】 鏡の中でのコミュニケーションが出来るようになる。			小テスト5 点 13	【授業単元】 アシスタントの仕事小テスト 【到達目標】 どの役割でも自信を持って接客、技術ができる(表情、姿勢、気づかい)。		
6	【授業単元】 中間テストの練習 【到達目標】 受け付け～お見送りまでを自信を持ってできる。			14	【授業単元】 定期テストの練習 【到達目標】 定期テストの流れ、ポイントを理解し、しっかり受ける準備が出来る。		
中間10点 7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 受け付け～お見送りまでを修得する。			定期30点 15	【授業単元】 定期テスト 【到達目標】 チームに分かれて営業し、役割を理解し、接客技術ができる。		
8	【授業単元】 パーマのヘルプ 【到達目標】 パーマのヘルプを理解する。 そして修得する。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	美容実習(シャンプー) Beauty Practice	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	池田 文子
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 2	開講区分	前期
						曜日・時間	火曜 水曜 木曜 金曜
【授業の学習内容と心構え】(実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 美容の仕事は職業とするための知識と実践を積み、就職した場所でスムーズに即戦力になれるようなサロンワークを習得できるようにする。							
【到達目標】 A,B,Cチームに分かれ、チームでサロン営業し、より現場に近い仕事を学ぶことができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 A,B,Cチームに分かれ、係りを決める。 【到達目標】 サロン名、サロンのコンセプト、店長や係を決めることで、チームのコミュニケーション、仕事を理解することができる			9	【授業単元】 B・・・サロンワーク C・・・シャンプー(客) A・・・ブロー 【到達目標】 C・・・シャンプー練習+お客様 A・・・ブラシブローを修得する。+アイロンチェック		
2	【授業単元】 A・・・サロンワーク B・・・シャンプー(客) C・・・ブロー 【到達目標】 チームに分かれてサロンワークをすることができる B・・・シャンプー練習+お客様 C・・・ハンドドライを学ぶ			10	【授業単元】 C・・・サロンワーク A・・・シャンプー(客) B・・・ブロー 【到達目標】 A・・・シャンプー練習+お客様 B・・・ブラシブローを修得する。+アイロンチェック		
3	【授業単元】 B・・・サロンワーク C・・・シャンプー(客) A・・・ブロー 【到達目標】 C・・・シャンプー練習+お客様 A・・・ハンドドライを学ぶ			11	【授業単元】 定期テスト時のサロンOPEN準備 【到達目標】 前回のスチューデントサロンの反省を生かし、接客/技術の向上準備を理解する。		
4	【授業単元】 C・・・サロンワーク A・・・シャンプー(客) B・・・ブロー 【到達目標】 A・・・シャンプー練習+お客様 B・・・ハンドドライを学ぶ			12	【授業単元】 定期テスト時のサロンOPEN準備 【到達目標】 前回のスチューデントサロンの反省を生かし、接客/技術の向上準備を理解する。		
5	【授業単元】 A・・・サロンワーク C・・・シャンプー(客) B・・・ブロー 【到達目標】 C・・・シャンプー練習+お客様 B・・・ハンドブローを学ぶ			13	【授業単元】 スチューデントサロン OPEN 小テスト 【到達目標】 サロン以外のチームは、シャンプー・アイロンの練習をし、OPENに備える。		
6	【授業単元】 B・・・サロンワーク A・・・シャンプー(客) C・・・ブロー 【到達目標】 A・・・シャンプー練習+お客様 C・・・ハンドブローを学ぶ			14	【授業単元】 スチューデントサロン OPEN 【到達目標】 1人1客、シャンプー～仕上げまで責任を持って接客・技術ができる。		
7	【授業単元】 C・・・サロンワーク B・・・シャンプー(客) A・・・ブロー 【到達目標】 B・・・シャンプー練習+お客様 A・・・ハンドブローを学ぶ			15	【授業単元】 スチューデントサロン OPEN 定期テスト 【到達目標】 1人1客、シャンプー～仕上げまで責任を持って接客・技術ができる。		
8	【授業単元】 A・・・サロンワーク B・・・シャンプー(客) C・・・ブロー 【到達目標】 B・・・シャンプー練習+お客様 C・・・ブラシブローを修得する。+アイロンチェック			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 小テストに関しては、忘れ物・授業態度等の授業点及び小テストを行った場合の点数、中間試験、期末試験においては、試験の点数をそのまま反映する。			

科目名 (英)	美容実習(カット・カラー) Beauty Practice	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	山崎・佐々木
学科・コース	美容師科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2	開講区分 曜日・時間	前期 木曜 1.2限 3.4限 金曜 1.2限 3.4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
日々美容室でサロンワークを行う講師が授業を展開していく。 カット技法の中でもワンレングスカット・グラデーションカット・カラーの基礎知識～応用技術を習得することができるようになる。							
【授業を通じての到達目標】							
ワンレングスカット・グラデーションカット・カラーの基礎知識・応用技術を習得し、ウィッグで再現できるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
シラバス、コマシラバス、カット用具一式、ウィッグ							
回	授業概要	ウィッグ	回	授業概要	ウィッグ		
1	【授業単元】 ワンレングスカット基礎知識と基本動作 【到達目標】 床平行ワンレングスカットの基礎知識が理解できる	A (新)	9	【授業単元】 ベーシックグラデーションカットの復習 【到達目標】 ベーシックグラデーションカットが正確に切れるようになる	B 小テスト		
2	【授業単元】 床平行ワンレングスカットの復習 【到達目標】 床平行ワンレングスカットのカットが正確に切れるようになる	A 小テスト	10	【授業単元】 レディースマッシュグラデーションカット 【到達目標】 グラデーションカットのレパートリーを増やすために、アレンジスタイルを切れるようになる	B 小テスト		
3	【授業単元】 前下がりがりワンレングスカット技術 【到達目標】 前下がりがりワンレングスカットのカット技術が理解できる	A	11	【授業単元】 ファッションカラー(ブリーチカラー) 【到達目標】 実際のブリーチ剤を使って、ブリーチカラーの知識・技術を理解し染めることができる	B		
4	【授業単元】 ファッションカラー(バージン毛)練習 【到達目標】 ファッションカラー(インナーカラー)の塗布技術が理解できる	A	12	【授業単元】 前下がりがりグラデーションカット 【到達目標】 グラデーションカットのレパートリーを増やすために、アレンジスタイルを切れるようになる	C (新) 小テスト		
5	【授業単元】 前上がりがりワンレングスカット(デザインカット)練習 【到達目標】 ワンレングスカットのレパートリーを増やすために、アレンジスタイルが切れるようになる	A 小テスト	13	【授業単元】 ファッションカラー(ダブルカラー) 【到達目標】 ブリーチ毛に実際のカラー剤を使って、ダブルカラーの知識・技術を理解し染めることができる	C		
6	【授業単元】 ファッションカラー(バージン毛を実際のカラー剤を使って染める) 【到達目標】 実際のカラー剤を使ってバージン毛を染めることができ	A	14	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 ベーシックグラデーションカットを正確に切ることができる	D		
7	【授業単元】 中間試験 【到達目標】 床平行ワンレングス カットを正確に切ることができる	D (新)	15	【授業単元】 マッシュ+刈り上げ メンズグラデーションカット 【到達目標】 グラデーションカットのレパートリーを増やすために、アレンジスタイルを切れるようになる	D		
8	【授業単元】 ベーシックグラデーション カットの基礎知識 【到達目標】 グラデーションカットの基礎知識が理解できる	B (新)	【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)				
【特記事項】			●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

科目名 (英)	美容実習(ワインディング) Beauty Practice	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	張 由香
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 2	開講区分	前期 月・金 1・2限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容室でのサロンワークや撮影ブライダルにも携わる講師が教える。 美容師免許を取得する為、そして美容師としての基礎技術を身に付ける為のワインディング授業。							
【授業を通じての到達目標】							
ワインディングの巻き方を正確に覚えて全頭を巻けることができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 ワインディング授業の準備  【到達目標】 ウィッグの取り扱いができるようになる。			9	【授業単元】 フロントから右面9本の上巻きを覚える。  【到達目標】 上巻きの巻き方を修得することができる。		
2	【授業単元】 ブロッキングを覚える。  【到達目標】 美容師としてのコームの使い方を覚えることができる。			10	【授業単元】 左面6本の上巻きを覚える。  【到達目標】 上巻きの巻き方を修得することができる。		
3	【授業単元】 センター下巻き9本を巻く。  【到達目標】 下巻きの巻き方を修得することができる。			11	【授業単元】 ブロッキングと全頭52本を巻く  【到達目標】 制限時間を設定して時間内に巻けるようになる。		
4	【授業単元】 右バックサイドの下巻きを巻く。  【到達目標】 下巻きの巻き方を修得することができる。			12	【授業単元】 ブロッキングと全頭52本を巻く。  【到達目標】 ブロッキングから全頭巻けるようになる。 (下巻きを正確に巻けているかを確認する)		
5	【授業単元】 左バックサイドの下巻きを巻く。  【到達目標】 下巻きの巻き方を修得することができる。			13	【授業単元】 ブロッキングと全頭52本を巻く。  【到達目標】 ブロッキングから全頭巻けるようになる。 (上巻きを正確に巻けているかを確認する)		
6	【授業単元】 ブロッキングから全頭の下巻きを巻く。  【到達目標】 下巻きの巻き方を修得することができる。			14	【授業単元】 ブロッキングと全頭52本を巻く。  【到達目標】 ブロッキングから全頭巻けるようになる。 (配列を覚えられているかを確認する)		
7	【授業単元】中間試験 制限時間で仕上げる。  【到達目標】 ブロッキングと下巻き(全頭)を正確に巻くことができる。			15	【授業単元】定期試験 ブロッキングと全頭を制限時間巻く。  【到達目標】 時間内に正確な巻けるようになる。		
8	【授業単元】 センター上巻き6本を巻く。  【到達目標】 上巻きの巻き方を修得することができる。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点  ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			



科目名 (英)	プロフェッショナルへの道 Careers Seminar	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	三村 宗緒・岩本 賢矢・神谷 明日香・ 鈴木 朋美・福井 彩花
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1	開講区分	前期
						曜日・時間	月2限、3限・水2限、3限

【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

現場実習や進級時に必要な履歴書の作成(学歴、自己PR)。グループワークを通して、自分の強みを理解する。  
行事やイベントで接するサロンを調べ、情報を得る術を教える。

【授業を通じての到達目標】

行事やイベントの振り返りをして、自分を見つめなおし、次にやるべきことを見つけられる。  
自身の力でサロンの情報(働いているスタッフ、サロンの雰囲気、作っているスタイル)を得ることができるようになる。

【使用教科書・教材・参考書】

資料や教材は授業で配布

【授業外における学習】

サロンに足を運ぶ

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】 入学式振り返り ベルリン実行委員決め 【到達目標】 入学式を振り返って自分の目標をもう一度見直すことができる。 行事の流れを知ることができる	9	【授業単元】 現場実習履歴書作成 【到達目標】 現場実習用の履歴書が書ける
2	【授業単元】 ベルリンコスチューム決め DANKSサロン調べ 【到達目標】 都内のサロンを知ることができる	10	【授業単元】 現場実習履歴書完成 【到達目標】 現場実習用の履歴書が書ける
3	【授業単元】 5月8日<2、3組>自分の好きなヘアスタイル探し(グループワーク) 5月13日<1、4組>DANKS振り返り 【到達目標】 自分の好きなテイストを知る ヘアショーの感想を共有できる	11	【授業単元】 現場実習サロン調べ 【到達目標】 自分が現場実習でお世話になるサロンのことを知って、 緊張を緩和させる
4	【授業単元】 5月13日<2、3組>DANKS振り返り 5月15日<1、4組>自分の好きなヘアスタイル探し(グループワーク) 【到達目標】 自分の好きなテイストを知る ヘアショーの感想を共有できる	12	【授業単元】 小テスト10 国際教育振り返り お礼状書き 【到達目標】 国際教育を振り返って、今後作っていく作品に反映することができる 現場実習に行った後のお礼状の書き方を学び、感謝の気持ちを持つ
5	【授業単元】 履歴書の書き方【学歴・職歴・賞罰】 (現場実習用) 【到達目標】 履歴書の基本を知る	13	【授業単元】 現場実習に向けて(サロン調べ)意気込み共有 【到達目標】 現場実習へ向けての意気込みや不安を共有し、 モチベーションをあげることができる
6	【授業単元】 中間テスト 30 履歴書の書き方【学歴・職歴・賞罰】 履歴書の書き方【自己PR】(グループワーク) 【到達目標】 履歴書の学歴等の欄が書ける 自分の強みを知る	14	【授業単元】 2セメスターに向けて持ち物等確認 時間割配布、研修事前連絡、学科長挨拶 【到達目標】 後期に向けて体制を整えることができる
7	【授業単元】 ナプラの出場サロン調べ 自己PR続き 【到達目標】 都内のサロンを知ることができる 自分の強みを書き起こすことができる	15	【授業単元】 定期テスト 2セメスターに向けて個人目標決め 【到達目標】 近い目標を立て、なんのために学校に来るのか理解 することができる
8	【授業単元】 サロン体験振り返り ナプラ振り返り 【到達目標】 振り返りをして、次の授業や美容師に向けて意欲をつなげられる		【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。
【特記事項】			

科目名 (英)	ヘアメイク Hair make Technique	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大谷・羽根・長嶋
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 2	開講区分 曜日・時間	月曜・木曜 1・2・3・4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアアレンジの基礎技術やメイクの基礎技術を身につけていく。							
【授業を通じての到達目標】							
ヘアアレンジの基礎(ピニング、編みこみ、一速、逆毛など)やメイクの基礎(ベースメイク～フルメイク)などを身につけて、現場実習などに活かす事ができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ウィッグ・クランプ・ピン類・コーム・ブラシ類・ダッカール・スタイリング剤・タオル メイク道具・ティッシュ・コットン・綿棒・ビニール袋							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 (メイク)ベースメイク 【到達目標】 ベースメイクをできるようにする。 セッティングの仕方。スキンケアの仕方をマスターする。			9	【授業単元】 (ヘアアレンジ) ピニング・編みこみ 【到達目標】 ピニング・編みこみをマスターする。 アレンジの再現		
2	【授業単元】 (メイク) アイメイク 【到達目標】 アイメイクをできるようにする。 アイメイクの理論を理解する。			10	【授業単元】 (ヘアアレンジ) 一束 【到達目標】 一束をマスターする。(面を意識する) ブラシの使い方・一束の作り方。ゴム隠しをマスターする。		
3	【授業単元】 (メイク) アイメイク 【到達目標】 アイメイクをできるようにする。 前回の復習。アイライナー・ビューラー・マスカラ実践。			11	【授業単元】 (ヘアアレンジ) 逆毛 【到達目標】 逆毛の立て方をマスターする。 逆毛を使ったアレンジをマスターする。		
4	【授業単元】 (メイク) アイブロウ 【到達目標】 アイブロウ(眉)をマスターする。 アイブロウの理論を理解する。			12	【授業単元】 (ヘアアレンジ) ツイスト・くるりんぱ 【到達目標】 ツイスト・くるりんぱをバランスを意識する。 アレンジをマスターする。		
5	【授業単元】 (メイク) リップ・チーク 【到達目標】 リップ・チークをマスターする。 リップ・チークの理論を理解する。			13	【授業単元】 (ヘアアレンジ) 波ウェーブ 【到達目標】 波ウェーブをマスターする。 アレンジをマスターする。		
6	【授業単元】 (メイク) フルメイク 【到達目標】 手順を覚えフルメイクを時間内にできるようにする。			14	【授業単元】 (ヘアアレンジ) 今までのまとめ 【到達目標】 色々なアレンジを覚える。		
7	【授業単元】 中間試験 フルメイク(40分) 【到達目標】 フルメイクを40分でできるようにする。			15	【授業単元】 定期試験 ヘアアレンジ 【到達目標】 テーマのヘアアレンジを完成させる。(練習&試験)		
8	【授業単元】 (ヘアアレンジ) コテ巻き 【到達目標】 コテ巻きをマスターする。 巻き方の違いの理論・実践を理解する。 セッティングの仕方。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
【特記事項】							
●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。							

科目名 (英)	美容総合技術 Beauty politekhnizm	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	神谷 明日香・尾崎 真由美・長谷川 奨悟 鈴木 朋美・佐々木 綾香
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 2	開講区分	月 1・2限 3・4限 曜日・時間 木 1・2限 3・4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師及び、美容学校で長く実務経験を教員が担当。 自分たちの持つイメージを伝えられるようなスタイリング・表現で、思い描く写真を具現化していく事を体得していく。 自分の技術をアピールする力を身に付けることができる。							
【授業を通じての到達目標】							
アイロン技術・ブロー技術・スタイリング技術の習得。 作品撮りの基礎手順・技術を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
C 003ウィッグ(ピンク台座) クランプ ドライヤー カールアイロン ストレートアイロン デンマンブラシ シザーケース リングコーム ダックカール ピンクタオル2枚 延長コード 雑巾 エプロン 筆記用具 名札 油性マジック							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 ハンドドライ・カールアイロン技術の体得 (平巻き・縦巻き・巻きつけ)  【到達目標】 基本的なアイロン技術を知ることができる			9	【授業単元】 チーム分け、手順の組み立て。 チームのコンセプト、テーマを決める ロケハン  【到達目標】 作品撮影の手順を組み立てることができる		
2	【授業単元】 ハンドドライ・カールアイロン技術・ストレートアイロン技術の体得 (平巻き・縦巻き・巻きつけの復習) (スパイラル巻き・毛先逃し巻き・ストレートアイロン)  【到達目標】 基本的なアイロン技術を知ることができる			10	【授業単元】 各グループでスタイル練習  【到達目標】 自分たちのイメージを形にすることができる		
3	【授業単元】 ハンドドライ・カールアイロン技術・ストレートアイロン技術の体得 (小テスト課題練習) ■小テスト■ カールアイロン技術  【到達目標】 自由自在にアイロンさばきができる			11	【授業単元】 作品撮り(90分間) プレゼンテーション ■小テスト■ 作品プレゼンテーション  【到達目標】 自分たちのイメージを作品で表現することができる		
4	【授業単元】 iPウィッグのカット デンマンブラシによるワンレングスのブローの体得 シルエットの理解  【到達目標】 ブラシの使い方を理解することができる			12	【授業単元】 前回作品のフィードバック 外部サロン授業  【到達目標】 プロによる作品撮りを知ることができる		
5	【授業単元】 デンマンブラシによるワンレングスのブロー ストレートアイロンによる波ウェーブ ■小テスト■ デンマンブラシによるワンレングスのブロー  【到達目標】 デンマンブラシを使ってブローができるように			13	【授業単元】 チーム分け、手順の組み立て。 チームのコンセプト、テーマを決める ロケハン・スタイル練習  【到達目標】 作品撮影の手順を組み立てることができる		
6	【授業単元】 デンマン&ロールブラシによるワンレングスのブローの体得 ロールブラシの使い方の習得  【到達目標】 ワンレングスをブローし、ブラシの違いを理解することができる			14	【授業単元】 作品撮り(90分間) プレゼンテーション ■定期試験■  【到達目標】 自分たちのイメージを作品で表現する		
7	【授業単元】 ロールブラシによるワンレングスのブロー カールアイロンによる波ウェーブ ■小テスト■ ロールブラシによるワンレングスのブロー  【到達目標】 ロールブラシを使ってブローができる			15	【授業単元】 前回作品のフィードバック 外部サロン授業  【到達目標】 プロによる作品撮りの違いを知ることができる		
8	【授業単元】 スタイルの制作  ■中間テスト■  【到達目標】 ブロー・アイロン技術を取り入れ、スタイルを完成することができる			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点  ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	関係法規 The related law and regulation	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高橋由香
学科・コース		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (1単位)	開講区分 曜日・時間	後期 火曜・1.2.3.4時限目
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 美容師としての業務を遂行していくために、ルールと知識を学び、自らの夢に向かう主体性を身につける。							
【授業を通じての到達目標】 美容師として公衆衛生を遵守する。国家試験に合格する。							
【使用教科書・教材・参考書】 関係法規・制度、法令集				【授業外における学習】			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 本科目の説明。社会生活における法の役割を知る。 【到達目標】 法の役割と特徴を理解する。			9	【授業単元】 開設者の衛生措置、立入検査と検査確認の違い、美容所以外での業務について理解する。 【到達目標】 美容所は衛生が保たなければならないことを理解する。		
2	【授業単元】 法の形式、種類を覚える。 【到達目標】 法の種類を覚える。			10	【授業単元】 1) 取扱いと罰則(業務停止処分、免許取消処分、再発計、美容所の閉鎖命令(30万円以下の罰金)を知る 【到達目標】 ルール違反をするとどのような処分になるか理解する。		
3	【授業単元】 衛生法規の概要、衛生行政の意義と歴史、衛生法規と衛生行政の分類を知る 【到達目標】 衛生法規と衛生行政の分類、保健所(一般衛生行政の流れ)を理解する。			11	【授業単元】 美容業の運営に関する法律を知る。 【到達目標】 美容師に関わる法規の種類、関連法規を知る。		
4	【授業単元】 美容師法の目的、用語の定義を覚える。 【到達目標】 美容師法の目的を理解する。定義を覚える。			12	【授業単元】 美容師法以外の美容業の衛生に関する法律を知る。 【到達目標】 美容師に関わる法規の種類、関連法規を知る。		
5	【授業単元】 美容師試験、美容師養成施設、免許の申請と登録、入館予約を知る 【到達目標】 美容師試験と美容師養成施設の仕組みを理解する。			13	【授業単元】 美容業の消費者保護に関する法律を知る。 【到達目標】 美容師に関わる法規の種類、関連法規を知る。		
6	【授業単元】 美容師の義務、衛生措置、管理美容師とは何かを学ぶ。 【到達目標】 美容師の衛生義務、管理美容師とは何かを理解する。			14	【授業単元】 振り返りと問題練習。 【到達目標】 定期試験で7割以上正解するようにする。		
7	【授業単元】 中間試験、試験終了後、美容師免許取得後の変更・初大化への対応を知る 【到達目標】 正答率7割以上。美容師免許の変更・紛失などの手続きを理解する。			15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 正答率7割以上		
8	【授業単元】 美容所の開設届、検査確認、美容所の継承とは何かを理解する。 【到達目標】 美容所を開設するための流れを理解する。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	衛生管理 Hygiene	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	氏家 由美
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1	開講区分	後期
						曜日・時間	水曜／1、2、3、4時限
【授業の学習内容と心構え】(実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 国家試験の科目であるが為の知識の取得ではなく美容師として人が集まる場所で働くものとして衛生というものに心配りをし、快適な空間を提供することができるようになるような知識を身につけるような授業をしていきます。 また、座学であるがために集中できにくいこともあると思いますが、具体例や機材を使った授業を行っていきたい。							
【到達目標】 最終的には国家試験合格が目標であるが、それにとどまら美容師法第1条「美容師は美容師の業務が適正に行われることで公衆衛生の向上に資すること」とされていることを実践できる美容師になるための知識を身につける。また2年次の国家試験対策講義において、十分な知識の再確認ができるようにしておくことも目標の一つである。							
【使用教科書・教材・参考書】 教科書 各種プリント				【授業外における学習			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】感染症の歴史および分類  【到達目標】 感染症の歴史および分類について、国家試験レベルでの内容を説明できる。			9	【授業単元】感染症・血液&接触感染、動物等からの感染症  【到達目標】 血液&接触感染、動物等からの感染症について国家試験レベルでの内容を説明できる。		
2	【授業単元】感染症の歴史および分類  【到達目標】 感染症の歴史および分類について、国家試験レベルでの内容を説明できる。			10	【授業単元】感染症・消毒についての基礎知識  【到達目標】 消毒についての基礎知識を国家試験レベルでの内容を説明できる。		
3	【授業単元】感染症・病原微生物の大きさや構造および環境・感染症の予防 【到達目標】 【授業単元】病原微生物の大きさや構造および環境・感染症の予防について内容を説明できる。いて国家試験レベルでの内容を説明できる。			11	【授業単元】感染症・消毒についての基礎知識  【到達目標】 消毒についての基礎知識を国家試験レベルでの内容を説明できる。		
4	【授業単元】感染症・病原微生物の大きさや構造および環境・感染症の予防 【到達目標】 病原微生物の大きさや構造および環境・感染症の予防について内容を説明できる。いて国家試験レベルでの内容を説明できる。			12	【授業単元】感染症・各種消毒法および材質による消毒法選び  【到達目標】 各種消毒法および材質による消毒法選びについて国家試験レベルでの内容を説明できる。		
5	【授業単元】感染症・呼吸器感染症および消化器感染症  【到達目標】 呼吸器感染症および消化器感染症について国家試験レベルでの内容を説明できる。			13	【授業単元】感染症・各種消毒法および材質による消毒法選び  【到達目標】 各種消毒法および材質による消毒法選びについて国家試験レベルでの内容を説明できる。		
6	【授業単元】感染症・呼吸器感染症および消化器感染症  【到達目標】 呼吸器感染症および消化器感染症について国家試験レベルでの内容を説明できる。			14	【授業単元】後期期末試験(感染症および衛生管理技術)  【到達目標】 半年間知識を身につけたものを再確認する。		
7	【授業単元】感染症後期中間テスト  【到達目標】 感染症後期中間テストおよびフィードバック			15	【授業単元】後期試験の解説  【到達目標】 試験の解説をすることにより、知識レベルの再確認と今後伸ばしていかないといけない場所を確認することができる。		
8	【授業単元】感染症・血液&接触感染、動物等からの感染症  【到達目標】 血液&接触感染、動物等からの感染症について国家試験レベルでの内容を説明できる。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 小テストに関しては、忘れ物・授業態度等の授業点及び小テストを行った場合の点数、中間試験、期末試験においては、試験の点数をそのまま反映する。			

科目名 (英)	美容保健 Health for beauty	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大須賀 範子
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (1単位)	開講区分	後期
						曜日・時間	火曜・1.2.3.4時限目
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容保健で学ぶ各名称等内容は「技術理論」でも使用されるものであり、これらを充分理解すること活躍の場を広げられる様になる。2013年から講義を担当し、教科書の内容をより理解出来る様にアクティブラーニングを授業に取り入れている。							
【授業を通じての到達目標】							
人体の構造、機能を理解し、自己管理に応用し、第三者に説明も出来る様になる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
日本理容美容教育センター発行、教科書(保健)ワークブック							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 視覚について 【到達目標】 「ものが見える」のはどういう人体の構造、機能により可能になるのか理解し説明できる。			9	【授業単元】 呼吸器について 【到達目標】 肺の仕組み、ガス交換について理解し、説明できる。		
2	【授業単元】 聴覚、平衡感覚について 【到達目標】 耳の働きは1つではないので、耳の構造、機能について分類し説明できる。			10	【授業単元】 呼吸運動について 【到達目標】 胸式呼吸、腹式呼吸について各々の違いと働きを理解できる。		
3	【授業単元】 味覚、臭覚、皮膚感覚について 【到達目標】 一見解りにくい感覚についても充分理解し、将来のサロン管理に役立てることができる。			11	【授業単元】 消火器について 【到達目標】 消火器について分類し、消化管のうち、口腔唾液腺について理解し、分類できる。		
4	【授業単元】 血液について 【到達目標】 人間の活動エネルギーは全て血液が全身をめぐることにより実現ができるので、血液について理解し説明できる。			12	【授業単元】 消火器について 【到達目標】 食道、胃、腸についてその構造働きを説明できる。		
5	【授業単元】 血液循環の仕組みについて 【到達目標】 血液が全身をめぐるための人体構造について理解し、循環経路について説明できる。			13	【授業単元】 消化管の働きと消化と物質代謝について 【到達目標】 消化管の色々な働きと物質代謝について説明できる。		
6	【授業単元】 心臓、血管、リンパ管について 【到達目標】 脈拍、血圧、リンパ管について理解し説明できる。			14	【授業単元】 総合確認テスト。 【到達目標】 1～13回まで学習した内容について正解率70%以上となる。		
7	【授業単元】 中間確認試験 【到達目標】 1～6回まで学習した内容について正解率70%以上とする。			15	【授業単元】 総復習 【到達目標】 人体の構造、機能、種々の名称について国家試験に対応できる実力がつく様になる。		
8	【授業単元】 呼吸器について 【到達目標】 呼吸とは何か、気道とは何かについて理解し、分類できる。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	美容技術理論 Technological theory	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	福井 彩花
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1	開講区分 曜日・時間	後期 水曜/1、2、3、4時限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
2017年以降、美容技術理論の講義を担当している。 美容師国家試験に合格するために、美容師としての業務を遂行していく上で必要な知識を習得する。							
【授業を通じての到達目標】							
美容技術理論の基礎知識を主体的に学び、習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
美容技術理論Ⅱの教科書、プリント							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【到達目標】 エステティック技術の概要を理解する 【授業単元】 第8章 ・カウンセリング ・マッサージ理論 ・フェイシャルケア技術			9	【到達目標】 メイクアップ技術の概要を理解する 【授業単元】 第10章 ・アイメイクアップ ・リップメイクアップ ・ブラッシュオンメイク		
2	【到達目標】 エステティック技術の概要を理解する 【授業単元】 第8章 ・フェイシャルケア技術 ・フェイシャル及びデコルテマッサージ ・フェイシャルパック			10	【到達目標】 メイクアップ技術の概要を理解する 【授業単元】 第10章 ・まつ毛エクステンション		
3	【到達目標】 ネイル技術の概要を理解する 【授業単元】 第9章 ・ネイル技術の種類 ・爪の構造と機能			11	【到達目標】 日本髪技術の概要を理解する 【授業単元】 第11章 ・日本髪の種類と特徴 ・日本髪と調和 ・日本髪の結髪技術		
4	【到達目標】 ネイル技術の概要を理解する 【授業単元】 第9章 ・爪のカット形状 ・爪の構造と名称 ・ネイルケアの道具			12	【到達目標】 着付け技術の概要を理解する 【授業単元】 第12章 ・着物の種類と選び方 ・帯と小物 ・着物各部の名称		
5	【到達目標】 第8章、第9章で学習した内容を振り返る 【授業単元】 第8章、第9章の復習			13	【到達目標】 着付け技術の概要を理解する 【授業単元】 第12章 ・着付け技術 ・和装花嫁 ・洋装花嫁		
6	【到達目標】 正答率7割以上 【授業単元】 中間試験			14	【到達目標】 第10章～第12章で学習した内容を振り返る 【授業単元】 第10章～第12章までの復習		
7	【到達目標】 メイクアップ技術の概要を理解する 【授業単元】 第10章 ・メイクアップの道具 ・スキンケア			15	【到達目標】 正答率7割以上 【授業単元】 定期試験 第8章～第12章までの内容		
8	【到達目標】 メイクアップ技術の概要を理解する 【授業単元】 第10章 ・ベースメイクアップ			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容実習(サロンワーク応用) (Beauty Practice)	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	池田 文子
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 2	開講区分 曜日・時間	後期 火曜 水曜 木曜 金曜
【授業の学習内容と心構え】(実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 美容の仕事は職業とするための知識と実践を積み、就職した場所でスムーズに即戦力になれるようなサロンワークを習得できるようにする。							
【到達目標】 A,B,Cチームに分かれ、チームでサロン営業し、より現場に近い仕事を学ぶことが出来る。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 A,B,Cチームに分かれ、係りを決める。 【到達目標】 サロン名、サロンのコンセプト、店長や係を決めることで、チームのコミュニケーション、仕事を理解することができる			9	【授業単元】 B・・・サロンワーク C・・・シャンプー(客) A・・・ブロー 【到達目標】 C・・・シャンプー練習+お客様 A・・・ブラシブローを修得する。+アイロンチェック		
2	【授業単元】 A・・・サロンワーク B・・・シャンプー(客) C・・・ブロー 【到達目標】 チームに分かれてサロンワークをすることができる B・・・シャンプー練習+お客様 C・・・ハンドドライを学ぶ			10	【授業単元】 C・・・サロンワーク A・・・シャンプー(客) B・・・ブロー 【到達目標】 A・・・シャンプー練習+お客様 B・・・ブラシブローを修得する。+アイロンチェック		
3	【授業単元】 B・・・サロンワーク C・・・シャンプー(客) A・・・ブロー 【到達目標】 C・・・シャンプー練習+お客様 A・・・ハンドドライを学ぶ			11	【授業単元】 定期テスト時のサロンOPEN準備 【到達目標】 前回のスチューデントサロンの反省を生かし、接客/技術の向上準備を理解する。		
4	【授業単元】 C・・・サロンワーク A・・・シャンプー(客) B・・・ブロー 【到達目標】 A・・・シャンプー練習+お客様 B・・・ハンドドライを学ぶ			12	【授業単元】 定期テスト時のサロンOPEN準備 【到達目標】 前回のスチューデントサロンの反省を生かし、接客/技術の向上準備を理解する。		
5	【授業単元】 A・・・サロンワーク C・・・シャンプー(客) B・・・ブロー 【到達目標】 C・・・シャンプー練習+お客様 B・・・ハンドブローを学ぶ			13	【授業単元】 スチューデントサロン OPEN 小テスト 【到達目標】 サロン以外のチームは、シャンプー・アイロンの練習をし、OPENに備える。		
6	【授業単元】 B・・・サロンワーク A・・・シャンプー(客) C・・・ブロー 【到達目標】 A・・・シャンプー練習+お客様 C・・・ハンドブローを学ぶ			14	【授業単元】 スチューデントサロン OPEN 【到達目標】 1人1客、シャンプー～仕上げまで責任を持って接客・技術ができる。		
7	【授業単元】 C・・・サロンワーク B・・・シャンプー(客) A・・・ブロー 【到達目標】 B・・・シャンプー練習+お客様 A・・・ハンドブローを学ぶ			15	【授業単元】 スチューデントサロン OPEN 定期テスト 【到達目標】 1人1客、シャンプー～仕上げまで責任を持って接客・技術ができる。		
8	【授業単元】 A・・・サロンワーク B・・・シャンプー(客) C・・・ブロー 【到達目標】 B・・・シャンプー練習+お客様 C・・・ブラシブローを修得する。+アイロンチェック			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 小テストに関しては、忘れ物・授業態度等の授業点及び小テストを行った場合の点数、中間試験、期末試験においては、試験の点数をそのまま反映する。			



科目名 (英)	美容実習(シャンプー) Beauty Practice	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	池田 文子
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 2	開講区分 曜日・時間	後期 火曜 水曜 木曜 金曜
【授業の学習内容と心構え】(実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 美容の仕事は職業とするための知識と実践を積み、就職した場所でスムーズに即戦力になれるようなサロンワークを習得できるようにする。							
【到達目標】 A,B,Cチームに分かれ、チームでサロン営業し、より現場に近い仕事を学ぶことができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 A,B,Cチームに分かれ、係りを決める。 【到達目標】 サロン名、サロンのコンセプト、店長や係を決めることで、チームのコミュニケーション、仕事を理解することができる			9	【授業単元】 B・・・サロンワーク C・・・シャンプー(客) A・・・ブロー 【到達目標】 C・・・シャンプー練習+お客様 A・・・ブラシブローを修得する。+アイロンチェック		
2	【授業単元】 A・・・サロンワーク B・・・シャンプー(客) C・・・ブロー 【到達目標】 チームに分かれてサロンワークをすることができる B・・・シャンプー練習+お客様 C・・・ハンドドライを学ぶ			10	【授業単元】 C・・・サロンワーク A・・・シャンプー(客) B・・・ブロー 【到達目標】 A・・・シャンプー練習+お客様 B・・・ブラシブローを修得する。+アイロンチェック		
3	【授業単元】 B・・・サロンワーク C・・・シャンプー(客) A・・・ブロー 【到達目標】 C・・・シャンプー練習+お客様 A・・・ハンドドライを学ぶ			11	【授業単元】 定期テスト時のサロンOPEN準備 【到達目標】 前回のスチューデントサロンの反省を生かし、接客/技術の向上準備を理解する。		
4	【授業単元】 C・・・サロンワーク A・・・シャンプー(客) B・・・ブロー 【到達目標】 A・・・シャンプー練習+お客様 B・・・ハンドドライを学ぶ			12	【授業単元】 定期テスト時のサロンOPEN準備 【到達目標】 前回のスチューデントサロンの反省を生かし、接客/技術の向上準備を理解する。		
5	【授業単元】 A・・・サロンワーク C・・・シャンプー(客) B・・・ブロー 【到達目標】 C・・・シャンプー練習+お客様 B・・・ハンドブローを学ぶ			13	【授業単元】 スチューデントサロン OPEN 小テスト 【到達目標】 サロン以外のチームは、シャンプー・アイロンの練習をし、OPENに備える。		
6	【授業単元】 B・・・サロンワーク A・・・シャンプー(客) C・・・ブロー 【到達目標】 A・・・シャンプー練習+お客様 C・・・ハンドブローを学ぶ			14	【授業単元】 スチューデントサロン OPEN 【到達目標】 1人1客、シャンプー～仕上げまで責任を持って接客・技術ができる。		
7	【授業単元】 C・・・サロンワーク B・・・シャンプー(客) A・・・ブロー 【到達目標】 B・・・シャンプー練習+お客様 A・・・ハンドブローを学ぶ			15	【授業単元】 スチューデントサロン OPEN 定期テスト 【到達目標】 1人1客、シャンプー～仕上げまで責任を持って接客・技術ができる。		
8	【授業単元】 A・・・サロンワーク B・・・シャンプー(客) C・・・ブロー 【到達目標】 B・・・シャンプー練習+お客様 C・・・ブラシブローを修得する。+アイロンチェック			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 小テストに関しては、忘れ物・授業態度等の授業点及び小テストを行った場合の点数、中間試験、期末試験においては、試験の点数をそのまま反映する。			

科目名 (英)	美容実習(カット・カラー) Beauty Practice	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	山崎・佐々木
学科・コース	美容師科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2	開講区分	後期
						曜日・時間	火曜 1.2限 3.4限 水曜 1.2限 3.4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
日々、美容室でサロンワークを行う講師が教える 半年間の授業を通し、レイヤーカット、クロップカット、カラーの基礎知識・応用技術を習得する							
【授業を通じての到達目標】							
レイヤーカット、クロップカット、カラーの基礎知識・応用技術を習得し、ウィッグで再現出来るようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
シラバス、コマシラバス、カット用具一式、ウィッグ							
回	授業概要	ウィッグ	回	授業概要	ウィッグ		
1	【授業単元】 ベーシックレイヤーカットの基礎知識 【到達目標】 ベーシックレイヤーカットの基礎知識が理解できる	E  (新)	9	【授業単元】 ベーシック クロップカットの復習 【到達目標】 クロップカットが正確に切れるようになる	B. E  小テスト		
2	【授業単元】 ベーシック レイヤーカットの復習 【到達目標】 ベーシック レイヤーカットが正確に切れるようになる	E	10	【授業単元】 ファッションカラー(ダブルカラー) 【到達目標】 ブリーチ毛に実際のカラー剤を使って ダブルカラーの知識・技術をより深く理解する	H  (新)		
3	【授業単元】 ベーシック レイヤーカットの復習と完全習得 【到達目標】 ベーシック レイヤーカットを、正確に切ることが 出来るようになる	E  小テスト	11	【授業単元】 メンズショート クロップカット(アレンジスタイル) 【到達目標】 クロップカットのレパトリーを増やすために アレンジスタイルを切れるようになる	G  小テスト		
4	【授業単元】 ファッションカラー(ホイルワーク) 【到達目標】 ファッションカラー(ホイルワーク)の塗布技術が 理解出来るようになる	E	12	【授業単元】 コンテスト風 カットスタイル 【到達目標】 今まで習得した知識・技術を使って コンテスト カットスタイルを切れるようになる	C  小テスト		
5	【授業単元】 レディース ウルフスタイル カット 【到達目標】 レイヤーカットのレパトリーを増やすために、 アレンジスタイルを切れるようになる	F  (新) 小テスト	13	【授業単元】 撮影風 カットスタイル 【到達目標】 今まで習得した知識・技術を使って 撮影風 カットスタイルを切れるようになる	H		
6	【授業単元】 ファッションカラー(ホイルワーク) 【到達目標】 実際のブリーチ剤を使って、 ホイルワークの知識・技術を理解し、習得する	F	14	【授業単元】 カットコンテストに向けたスタイル練習 【到達目標】 カットコンテストに向けたスタイルが切れるようになる	F		
7	【授業単元】 中間試験 【到達目標】 ベーシック レイヤーカットを、正確に切ることが 出来るようになる	G  (新)	15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 コンテストデザインカットを 正確に切ることが出来るようになる	白台座		
8	【授業単元】 ベーシック クロップカットの基礎知識 【到達目標】 クロップカットの基礎知識を理解する	A	【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)				
【特記事項】			●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

科目名 (英)	美容実習(ワインディング) Beauty Practice	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	張 由香
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 2	開講区分	後期 月・金 1・2・3・4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サロンワークを継続し、撮影ブライダルにも携わる講師が教える美容師免許と現場で通用する技術を習得する。							
【授業を通じての到達目標】							
国家試験の規定を知り、正確な巻き方を覚える。制限時間内に全頭を仕上げる。忘れ物をしない。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 巻き方の確認  【到達目標】 上巻き、下巻きを正確に巻くことができるようになる			9	【授業単元】 手つきと姿勢の確認  【到達目標】 フロントから右側の納まり強化し、正確に仕上げるができる		
2	【授業単元】 巻き方の正確性の確認  【到達目標】 上巻きセンター～下巻き全頭仕上げるができる			10	【授業単元】 手付きと姿勢の確認  【到達目標】 左側の納まり強化し、正確に仕上げるができる		
3	【授業単元】 フロント～右面の導入  【到達目標】 正しい姿勢で巻きスライス線を覚えることができる			11	【授業単元】 全頭を正確に巻く  【到達目標】 全頭を正確に巻くことができるようになる		
4	【授業単元】 左面の導入  【到達目標】 スライス線とステムを覚えることができる			12	【授業単元】 手つきと姿勢の確認  【到達目標】 巻き方の修正し、正確な姿勢でワインディングを巻くことができる		
5	【授業単元】 国家試験の規定を覚える。  【到達目標】 国家試験の規定を覚え、タイム内に全頭を巻くことができる			13	【授業単元】 全頭のスピードアップ  【到達目標】 巻き方の修正と強化をし、スピードアップすることができる		
6	【授業単元】 ワインディングの構成を覚える  【到達目標】 スライス線とステムの確認と手直しを覚えることができる			14	【授業単元】 衛生と規定を覚える。  【到達目標】 全頭を制限時間内に正確に巻くことができる		
7	【授業単元】中間テスト 衛生準備、制限時間内で巻く。  【到達目標】 制限時間内に正確に巻くことができる。			15	【授業単元】 定期テスト  【到達目標】 衛生の徹底とせり、全頭を制限時間内に正確に巻くことができる		
8	【授業単元】 手つきの確認  【到達目標】 センターのタイム重点的にアップすることができる。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点  ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)  ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	美容実習(オールウェーブセッティング) Beauty Practice	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	山下 洋子
学科・コース	美容師科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2	開講区分	後期
						曜日・時間	木曜 金曜
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師国家試験実技第2課題(オールウェーブ)を合格、習得する。							
【授業を通じての到達目標】							
オールウェーブセッティング段構成の理解とウェーブバランスを習得する。ウェーブコームを使って、ウェーブとリッジを作り上げる。国家試験を意識した衛生準備を取り上げながら作り上げる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
オールウェーブ道具一式、衛生用具一式、ノート、教科書、筆記用具				第2課題(オールウェーブ)技術向上に向けての復習			
回	授業概要			回	授業概要		
1	<b>【授業単元】</b> オールウェーブ国家試験の説明、机上进行(道具、用具類の名)  <b>【到達目標】</b> ・ローション塗布、コームの持ち方、使い方を覚える。毛流れの練習修得する。			9	<b>【授業単元】</b> 右側3段、4段目ウェーブを覚える。  <b>【到達目標】</b> ・左側タイムアップ 4.5段目各1分30秒/6.7段目2分/1段目4分/2段目6分/3段目6分/カール4分/ウェーブ2分		
2	<b>【授業単元】</b> 1段目スカルプチュアカールを覚える。2段目の方向性。  <b>【到達目標】</b> ・スライス線のとり方、カールの作り方、ピンング方向性、カール5個のバランス、2段目の方向性を覚える。			10	<b>【授業単元】</b> 右側5.6.7段目ウェーブを覚える。  <b>【到達目標】</b> ・右側3段目～7段目ウェーブを通して作る。・毛流れ、ウェーブバランスの確認。		
3	<b>【授業単元】</b> 2段目リッジを覚える。  <b>【到達目標】</b> ・スカルプチュアカール復習。・2段目毛流れ、リッジを覚える。			11	<b>【授業単元】</b> 7段目ウェーブの強化、タイムアップ、4段目リフトカールを覚える。  <b>【到達目標】</b> ・左側3～7段目、右側3～7段目/6分・リフトカールを作る。		
4	<b>【授業単元】</b> 1段目～2段目を作る。  <b>【到達目標】</b> ・スカルプチュアカールのタイムアップ1段目5分・ウェーブ、リッジの復習			12	<b>【授業単元】</b> ・1～4段目リフトカール～7段目ウェーブを作る。  <b>【到達目標】</b> ・1段目4/2段目5分/3段目4分/3～5段目(各1分30秒)/6.7段目(各1分30秒)/4段目リフトカール5分		
5	<b>【授業単元】</b> 3段目スカルプチュアカールを覚える。左側4段、5段目ウェーブを覚え  <b>【到達目標】</b> ・3段目カールスライス線取り。・ウェーブ幅5cmの確認、3段目、4段目、5段目を作る。			13	<b>【授業単元】</b> 5段目リフトカールを覚える  <b>【到達目標】</b> ・4段目リフトカールの復習・5段目リフトカールを正確に作る。		
6	<b>【授業単元】</b> 左側6段、7段目ウェーブを覚える。  <b>【到達目標】</b> ・ウェーブ、リッジの練習・カールエリアの空け方の確認			14	<b>【授業単元】</b> ・1～4、5段目リフトカール～7段目ウェーブを作る。  <b>【到達目標】</b> 7段目ウェーブバランスを意識しながら、正確なカールを作る。30分		
7	<b>【授業単元】</b> 中間確認テスト 1段目～左側5段目まで23分  <b>【到達目標】</b> ・スカルプチュアカールの正確さ、リッジの正確さ・ウェーブバランス、カールエリア、ピンングの方向性			15	<b>【授業単元】</b> 定期試験  <b>【到達目標】</b> ・1段目～4、5段目リフトカール～7段目ウェーブ30分		
8	<b>【授業単元】</b> 1段目～左側5段目まで復習23分  <b>【到達目標】</b> ・左側4、5、6.7段目ウェーブを作る。・左側7段目ウェーブの完成。			<b>【評価について】</b> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点  ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道 (Careers Seminar)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	三村 宗緒・岩本 賢矢・神谷 明日香・ 鈴木 朋美・福井 彩花
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期 曜日・時間 月2限、3限・木2限、3限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 就職活動や現場実習に必要なサロンの情報を得るために、学校行事と連動したサロン研究を進め、自分とマッチするサロンを探す術を学ぶ。 そして履歴書の作成の仕方を学び就職活動や現場実習に向けて準備を始める。 それらをクラスグループで共有しながら授業を行い、最終的に自身の行きたいサロンの方向性とそれに見合う自己PRを人前で発表する力を身につける。							
【授業を通じての到達目標】 サロン研究を通して将来的に就職したいサロンの方向性を見出すことができるようになる。 基本的な履歴書の作成ができるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
資料や教材は授業で配布							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 就職活動に必要な面接練習 【到達目標】 グループワークで練習(撮影をして客観的に自分のことを見る) 自分の強み、アピールできることを理解し、 就職活動で必須の面接に必要な回答を導き出すことができる。			9	【授業単元】 面接練習 【到達目標】 クラス内模擬面接にて、自分の想いを具現化し、またそれらを言葉にして 話すことができるようになる。		
2	【授業単元】 就職活動に必要な面接練習 【到達目標】 クラス内模擬面接にて、話す相手にどんな印象を与えるかを理解する。 質問に対しての受け答えが円滑に出来るようになる			10	【授業単元】 中間試験 模擬面接 【到達目標】 学内模擬面接にて就職担当や責任者をから受け答えに対する指導を受け、 就職活動に活かすことができる。		
3	【授業単元】 小テスト 就職活動に必要な面接練習 【到達目標】 学内模擬面接にて就職担当者や責任者をから受け答えに対する指導を受け、 就職活動に活かすことができる。			11	【授業単元】 サロン探し 【到達目標】 4月から始まる就職活動を円滑に進めるために、就職したいサロンを調べ 求人が出る時期や、リクルートの見方、求人内容を理解することができる。		
4	【授業単元】 履歴書作成【自己PR】 【到達目標】 履歴書に必要な自己PR欄を記入するために、自分の強みを知ることができる			12	【授業単元】 カットコンテストコンセプトシート作成 【到達目標】 2月のカットコンテストに向けて、やりたいイメージを描き起こすことができる。		
5	【授業単元】 小テスト 履歴書作成【自己PR】 【到達目標】 履歴書に必要な自己PR欄を記入するために、自分の強みを知り それらを具体的に書き起こすことができる。			13	【授業単元】 小テスト5点 履歴書作成【志望動機】 【到達目標】 履歴書に必要な志望動機を記入するために、サロンの特徴を知り 入職したい意思を具体的に書き起こすことができる。		
6	【授業単元】 自己プロデュース力を高める 【到達目標】 chokichoki編集長の三浦さんによる全身写真の撮り方講座 就職活動で提出が増加している全身写真の撮り方を知り、 自己プロデュース力を高めることができる。			14	【授業単元】 ヘアショー見学 【到達目標】 ヘアショーを見学して感性を磨き、今後の作品創りに活かすことができる。		
7	【授業単元】 小テスト 履歴書作成【自己PR】 【到達目標】 履歴書に必要な自己PR欄を就職活動ですぐに使用できる文章を 書くことが出来る。			15	【授業単元】 定期試験 履歴書作成【志望動機】 【到達目標】 履歴書に必要な志望動機を記入するために、サロンの特徴を知り 入職したい意思を具体的に書き起こすことができる。		
8	【授業単元】 コラージュデザイン力を高める 【到達目標】 就職活動で必要なスタイルブックの作成にあたり、 デザインの基礎を知ることが出来る。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】 履歴書フリースペースは冬休み課題							

科目名 (英)	国際教育	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩本 賢矢
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
海外のヘアメイク技術を知り、知見を広げる							
【授業を通じての到達目標】							
・海外で活躍するヘアメイクアーティストの実演を通して、ヘアメイクの幅を広げる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授業概要			回	授業概要		
1	<b>【授業単元】</b> 海外のヘアメイク事情  <b>【到達目標】</b> ・日本と海外のヘアメイクの違いについて、調べ学習や発表を通して理解を深める  ・海外研修プログラムの概要を理解する			9	<b>【授業単元】</b> 海外研修先のヘアメイクアーティストの技術実演①  <b>【到達目標】</b> 海外研修先のロサンゼルスで活躍するヘアメイクアーティストの技術を見学し、視野を広げる  海外で働くヘアメイクアーティストの価値観を理解する  日本との違いを学ぶ		
2				10			
3				11			
4				12			
5	<b>【授業単元】</b> 海外研修を理解する  <b>【到達目標】</b> ・ヘアメイク科で例年行っている海外研修の内容を理解し、イメージを広げる  ・昨年参加した先輩から話を聞き、学びを深める			13	<b>【授業単元】</b> 海外研修先のヘアメイクアーティストの技術実演②  <b>【到達目標】</b> ロンドン・フランスで活躍するヘアメイクアーティストの技術を見学し、視野を広げる  国ごとの考えの違いや、顧客の違いを理解する		
6	・研修先の施設を調べ、どのようなプログラムが行われたのかを理解する			14	海外で働くヘアメイクアーティストの価値観を理解する  海外での学びの重要性を理解する		
7				15			
8				<b>【評価について】</b> 合格:S 不合格:U 課題レポートの提出をもって判定する			
【特記事項】							

科目名 (英)	美容総合技術2	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	桐谷 裕子
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 2	開講区分	後期
						曜日・時間	月曜 1.2.3.4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
プロフェッショナルの技術を身につけるための基本の技術と理論を修得し、応用力を引き上げる 実際に現場で働く講師より現在のトレンドを学びながら基礎の土台を固める							
【授業を通じての到達目標】							
ベーシックなスタイルからトレンドのスタイルまで幅広く対応できる基礎技術を身につけ、サロンスタイルに対応できる力を修得する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘア教材一式							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 使用する道具の名称、それぞれの目的に適した使い方を知る 【到達目標】 各道具の持ち方、使い方を修得し基礎となるパート取りを素早的的確に行えるようになる			9	【授業単元】 コテ巻きのパリエーションを増やす(アレンジに適した巻き方) 【到達目標】 ウィッグを使用してコテ巻きのパリエーションを増やす 骨格を踏まえたシルエット理論を学ぶ		
2	【授業単元】 ウィッグを使用して基本のピンング、オニピンの使い方を習得する 【到達目標】 前回練習した基本のピンングを復習し、さらにオニピンの使い方も学ぶ事によってそれらを使ったトップシニヨンスタイル(お団子スタイル)を完成させる			10	【授業単元】 ウィッグを使用してストレートアイロンワークを練習する 【到達目標】 ウィッグを使用してストレートアイロンで作るCカール、内巻き、外巻きの方法を修得する		
3	【授業単元】 ウィッグを使用してピンングのみでハーフアップを完成させる 【到達目標】 作るスタイルによって適したピンングのパリエーションと方法を理解、修得してハーフアップを完成させる コームを用いたスライスの取り方のパリエーションを修得			11	【授業単元】 スチール撮影に向けての練習 【到達目標】 スチール撮影に向けて作品のイメージを決めて練習する		
4	【授業単元】 コテの理論・使い方を学ぶ 【到達目標】 コテ理論を学び、ウィッグを使用して使い方を実践する 角度や巻き方にパリエーションがあることを理解する			12	【授業単元】 スチール撮影に向けての練習 【到達目標】 スチール撮影に向けて作品のイメージを決めて練習する		
5	【授業単元】 人頭にコテ巻きを実践、ピンングによるアレンジヘアを完成させる 【到達目標】 相モデルで人頭にコテ巻きを実践、今までに修得したピンング技術を使って巻き髪を生かしたヘアアレンジを完成させる			13	【授業単元】 定期テスト練習 【到達目標】 定期試験課題の説明・練習		
6	【授業単元】 編み方のパリエーションを増やす 【到達目標】 ウィッグを使用してタイトロープ編み、フィッシュボーンの技術を修得する			14	【授業単元】 定期テスト練習 【到達目標】 定期試験課題の説明・練習		
7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】			15	【授業単元】 定期テスト 【到達目標】		
8	【授業単元】 根つぶしブローの方法、必要性を学ぶ/ ストレートアイロンを学ぶ 【到達目標】 ウィッグを使用してストレートアイロンの使い方を学ぶ 根つぶしブローを方法、必要性を知り、ローポニーテールをウィッグで仕上げる			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							